



端末を使うと、わかりやすい発表スライドをつくることができます。

しかし、その際に勝手に他者の著作物を使うことがないように気をつけたり、自分の著作物を勝手に使われることがないように気をつけたりする必要があります。

ここでは、上手にデザインするための方法や、他者や自分の著作物の権利について学びます。

最初にチェックしてみよう

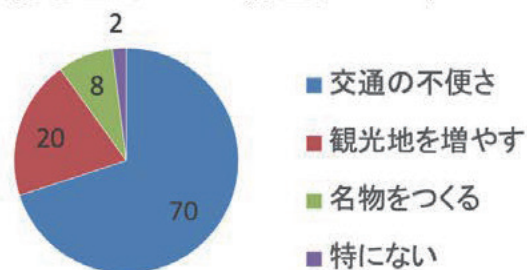
- 私は、上手に発表スライドをデザインすることができると思う
- 私は、発表スライドのタイトルを上手につけることができると思う
- 私は、著作権が何のためにあるのかを知っていると思う
- 私は、著作権を侵害してしまうことがあるかもしれないと思う
- 私は、知的財産権の「著作権」と「産業財産権」について知っていると思う
- 私は、画像生成AIを使う時に、どのようなことに気をつければよいかかわかると思う

よりよい発表資料をつくるためには、内容はもちろん、デザインも工夫する必要があります。
次の発表スライドのデザインの問題点を考え、よりよい発表スライドにするための工夫を考えてみましょう。

〇〇市をもっとよりよくするために

〇〇市には、たくさんの自然があり、食べ物もおいしく、人が温かいという良さがあります。

改善を望むことの調査(100人)

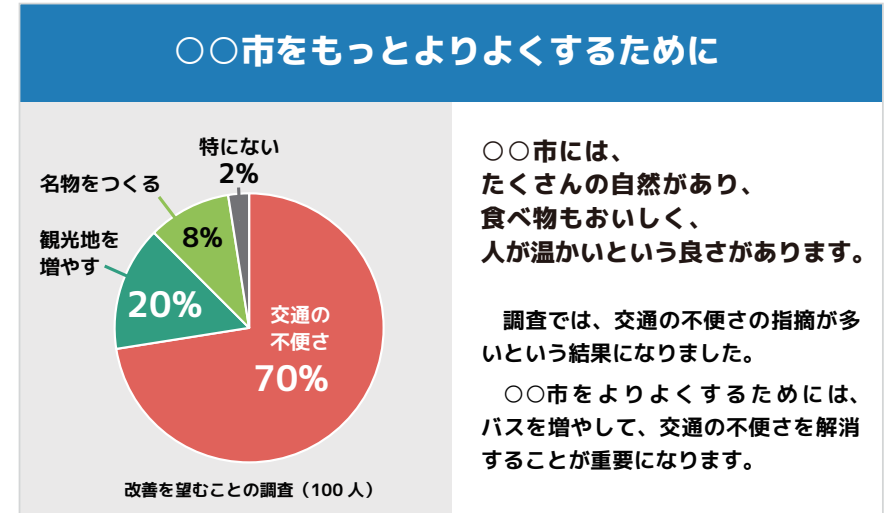
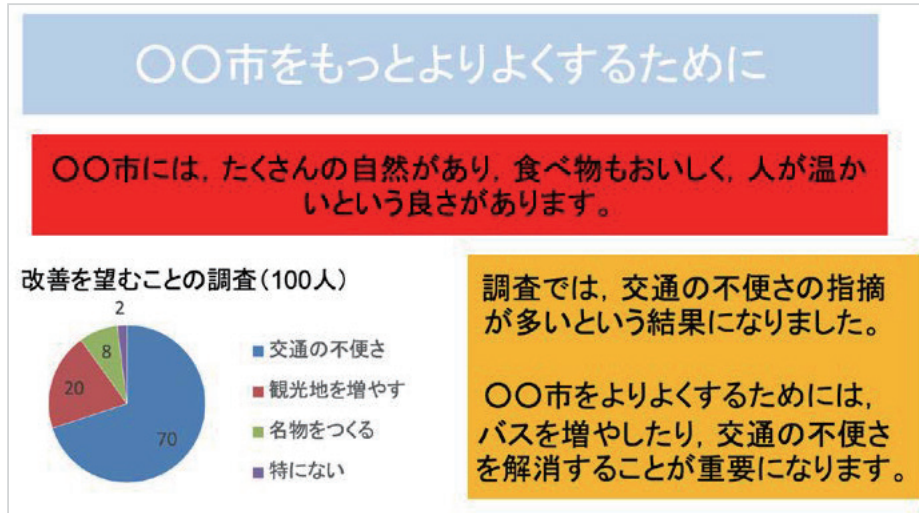


調査では、交通の不便さの指摘が多いという結果になりました。

〇〇市をよりよくするためには、バスを増やしたり、交通の不便さを解消することが重要になります。



工夫例


 スキルのポイント

見やすいデザインにするために、「①必要以上に多くの色を使わない」、「②コントラストをつける」の2つを意識してみましょう。

- ①たくさんの色を使いすぎるとどこに着目してよいのかわかりにくくなります。2~3色程度に抑えるようにしましょう。
- ②コントラストとは「明暗の差」ですが、薄い背景に白い文字よりも濃い背景に白い文字の方が見やすくなります。



タイトルを考えよう

地域のケーキ屋さんについて調べたことをスライドにまとめ、地域の人向けに発表することになりました。スライドの構成を検討したところ、以下のような表になりました。

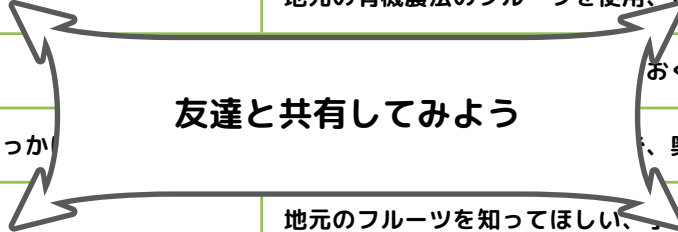
ページ	各スライドのタイトル	各スライドの内容
1	ケーキ屋さんの名前／取材した人	ケーキ工房／徳川太郎さん
2	ケーキ屋さんの場所	〇〇駅の近く
3	ケーキの特徴	地元の有機農法のフルーツを使用、甘さ控えめなクリーム
4	一番売れているケーキ	イチゴのショートケーキ「天使のおくりもの」（1日100個売れる）
5	ケーキ屋さん開店のきっかけ	もともと徳川さんがイチゴ農家で、奥さんがパティシエだった
6	ケーキ屋さんの願い	地元のフルーツを知ってほしい、子どもを笑顔にしたい
7	エピソード	12月にたくさんケーキをつくって腕をケガしたことがある

このスライドを使って発表する場合の発表のタイトルを考えてください。

発表タイトル



ページ	各スライドのタイトル	各スライドの内容
1	ケーキ屋さんの名前 / 取材した人	ケーキ工房 / 徳川太郎さん
2	ケーキ屋さんの場所	〇〇駅の近く
3	ケーキの特徴	地元の有機農法のフルーツを使用、甘さ控えめなクリーム
4	一番売れているケーキ	「おくりもの」(1日100個売れる)
5	ケーキ屋さん開店のきっかけ	奥さんがパティシエだった
6	ケーキ屋さんの願い	地元のフルーツを知ってほしい、子どもを笑顔にしたい
7	エピソード	12月にたくさんケーキをつくって腕をケガしたことがある



発表タイトル

☆ スキルのポイント

スライドでまとめた内容を、どのようなタイトルで伝えるかは、とても重要な問題です。

例えば、「ケーキ工房について」というタイトルで、地域の方は関心を持って聞いてくれるでしょうか。

「おや、なんだろう?」「どういうことだろう?」といったタイトルの方が、関心を持ってくれるかもしれません。「はじめてケーキ工房を知る人は、どんなことに驚くだろうか?」といった視点で考えると、「1日100個売れる」ことや開店のきっかけ、想い、具体的なエピソードなどをタイトルに入れるとよいでしょう。

著作物とは、「思想又は感情を創作的に表現したもので、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」となりますが、こうした著作物を違法にコピーすると、誰が困るでしょうか。

マンガ家の作品を画像共有サイトへ勝手にアップロードした場合、どのような人が困るのか考えてみましょう。

マンガを勝手にアップロードした

▼ 誰が困る？

▼ 誰が困る？

▼ 誰が困る？

▼ 誰が困る？



マンガを勝手にアップロードした

▼ 誰が困る？

▼ 誰が困る？

友達と共有してみよう

▼ 誰が困る？

★ スキルのポイント

「マンガを勝手にアップロードしたら、誰が困るか？」と聞かれると、まず思いつくのは、マンガ家本人や出版社の人たちでしょう。もちろん、本来得ることができるはずのマンガの購入代金をもらえないと考えれば、マンガ家本人や出版社の人たちは困ってしまいますが、それだけではありません。マンガの出版に関わる全ての人たち、例えば、印刷会社や広告代理店、書店なども困ります。

さらに、マンガ家や出版社の人たちが困るところで、そのマンガの続きが描けなくなるとすると、一番困るのは誰でしょうか？

著作権により新しいアイデアや作品をつくることを尊重することは、私たちにとっても重要なことなのです。



しんがい
著作権を侵害してしまう時とは、どのようなときでしょうか。
しんがい
著作権を侵害してしまう場面と理由を考えてみましょう。

どのような？

- 1 好きな
- 2 人気の
- 3 ネットで見つけた
- 4 推している

何を？

- A アニメ・マンガを
- B 音楽を
- C イラストを
- D 本を

なぜ？

- ア みんなにも知ってほしくてSNSで公開してしまう
- イ 出典を示さずに自分のものとして発表スライドに使ってしまう
- ウ 再生数を伸ばしたくて動画共有サイトで公開してしまう
- エ 勝手にSNSのアイコンにしてしまう
- オ 買うお金がもったいないから写真を撮ってしまう
- カ 友達も欲しそうだからコピーしてあげてしまう
- キ お金がないから違法サイトからダウンロードしてしまう
- ク 勝手にグッズにして売ってしまう

解答例

どのような？

4

推している

何を？

A

アニメ・マンガを

なぜ？

E

勝手に SNS の
アイコンにしてしまう

 スキルのポイント

どういう場面で、私たちは著作権を侵害^{しんがい}してしまうのでしょうか。

「これぐらいなら大丈夫だろう」、「お金がもったいないから」と考えてしまう時は、ぜひそのコンテンツを作った人や広めた人のことを考えてみましょう。

新しい音楽やマンガなどをつくるのがどれだけ大変で、どれだけ大切なことなのか、「もし、新しいコンテンツが創作されなくなったら誰^{だれ}が困ってしまうのか」をぜひ考えてみてください。

知的財産権には、主に文化的なものを保護する「著作権」と産業的なものを保護する「産業財産権」があります。次の内容を、「著作権」で保護するものと「産業財産権」で保護するものに分けてみましょう。

- 1 市販のタブレットのデザイン
- 2 市販のタブレットの商品名やマーク
- 3 個人が考えた新しいイラストのアイデア
- 4 個人が撮った写真
- 5 市販のタブレットを高性能化するためのアイデア

著作権

産業財産権

どちらにも当てはまらない



正解

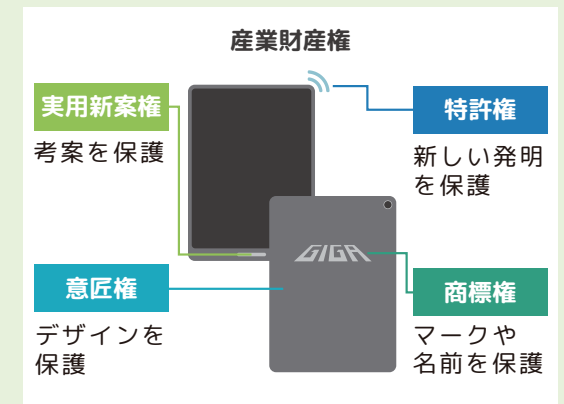
著作権	産業財産権	どちらにも当てはまらない
<p>4</p> <p>個人が撮った写真</p>	<p>1</p> <p>市販のタブレットのデザイン</p> <p>2</p> <p>市販のタブレットの商品名やマーク</p> <p>5</p> <p>市販のタブレットを高性能化するためのアイデア</p>	<p>3</p> <p>個人が考えた新しいイラストのアイデア</p>

☆ スキルのポイント

知的財産権には、主に文化的なものの保護する「著作権」と産業的なものを保護する「産業財産権」があります。

産業財産権には、特許権（新しい発明を保護）、実用新案権（考案を保護）、意匠権（デザインを保護）、商標権（マークや名前を保護）があります。著作権では権利を得る手続きが必要ありませんが、産業財産権は登録しなければ権利が発生しません。また、著作権ではアイデアは保護されませんが、産業財産権ではアイデアも保護されます。

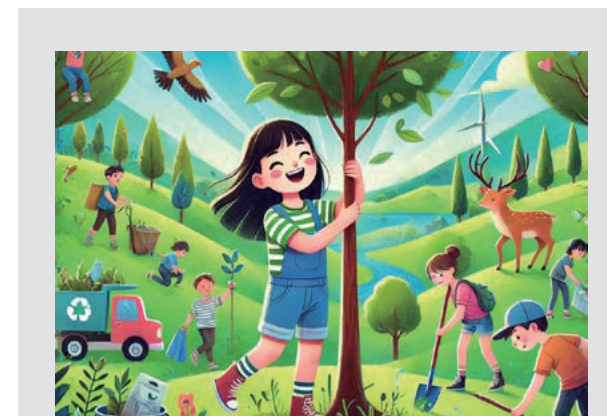
こうした違いを意識しながら、自分の知的財産をどのように守るかを考えてみましょう。



あなたは、^{かんきょう}環境のことを考えてもらうポスターを作成する際、^{いっしょ}保護者と一緒に画像を生成してくれるAIを使って、イラストを作ってみることにしました。すると、イメージにぴったり合うイラストが生成されたので、そのまま使ってポスターを完成させ、公開することにしました。こうした画像を生成してくれるAIを使うことで、便利になる一方で、どのようなことが問題となるでしょうか。画像生成AIの仕組みを考えながら、問題点を考えてみましょう。

ヒント

- ・ 画像生成AIの仕組みを考えてみよう



実際に画像生成AIで作られた画像の例

問題点



実際に画像生成AIで作られた画像の例

☆ スキルのポイント

画像生成AIは、すぐにオリジナルのイラストを作っているように見えますが、実はこれまでの様々なイラストをあらかじめ学習して、それらを組み合わせてイラストを作成しています。

その学習の過程で、なかには許可なくいろいろな人が描いたイラストを学習している場合もあります。画像生成AIを使う場合は、著作権などの権利をどのように扱っているのかを確認することが大切です。

画像生成AIはとても便利ですが、問題点も考えながら、上手に活用してください。



つくる

まとめ

よき使い手になるために

端末を使って発表スライドなどをつくるときは、著作権のことを考える必要があります。「もし、自分がつくった作品が、誰かに勝手に使われたらどのような気持ちになるだろう」と想像し、他者や自分の権利を尊重しましょう。また、著作権を侵害した場合は、10年以下の懲役または1,000万円以下の罰金（またはその両方）が科されることとなります。もし、誰かがつくったアイデアをマネすることが許される社会だとしたら、誰も新しいアイデアや作品をつくらなくなってしまいます。新しいアイデアや作品をつくることを尊重するために、重い罰則となっているのです。

チェックしてみよう

- 私は、上手に発表スライドをデザインすることができる
- 私は、発表スライドのタイトルを上手につけることができる
- 私は、著作権が何のためにあるのかを説明することができる
- 私は、著作権を侵害しないために、どのようなことに気をつければよいか分かる
- 私は、知的財産権の「著作権」と「産業財産権」について説明することができる
- 私は、画像生成AIを使う時に、どのようなことに気をつければよいか分かる



現在、端末を操作する際に、様々な入力方法が検討されています。

もっとも一般的なのは、キーボードやタッチペンなどでの入力ですが、最近では音声やジェスチャーなどでも入力ができるようになりました。

調べてみよう

音声やジェスチャーを活用するサービスにはどのようなものがあるだろうか？

話し合ってみよう

音声操作やジェスチャー操作ができるようになると、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？